



西脇市

議会だより

3月定例会

No.55
2017.5.1



特集

主権者教育

市原鉄道記念館
展示車両お色直し

発行／兵庫県西脇市議会
編集／議会広報広聴特別委員会
西脇市郷瀬町605
TEL (0795) 22-3111
FAX (0795) 22-4301
Mail:gikai@city.nishiwaki.lg.jp

本会議・委員会はインターネットで!

西脇市HP

<http://www.city.nishiwaki.lg.jp>

子育て支援
学力向上に
重点配分!

平成29年度予算 463億9719万円
一般会計189億3000万円・特別会計116億8314万円
企業会計157億8404万円

今回は特に議論のあった主要な事業を中心に掲載しています。
各事業の詳細は広報にしわき4月号や「わかりやすい予算説明書」(※1)をご覧ください。
※委員間討議とは委員(議員)同士で意見集約を目指し議論することです。

予算決算常任委員会

一般会計予算

地域公共交通網 形成計画策定事業

問 バス交通(※2)について、住民の意見集約は難しいとも思う。住民の理解・納得・共感を得るためにどのような手法で声を拾うのか。

答 老人クラブ連合会や高校生を中心にアンケートを実施するほか、バス利用者や免許返納予定者等の声を聞く予定。

委員間討議

▼理解や共感を得るためには行政だけではなく、議会も関わらなければならない。

▼担当課は他の業務もあり、バス交通ばかりに関わるわけにもいかないだろう。住民との意見交換部分は議会が担えるのではないかと。

▼モデル地区を設定し、議会がリサーチして担当課と協議する手法もある。

▼公共バス交通は全市的な課題とはいえ地域の課題でもある。地域によって思いや課題が違っているため、地域に住み実情を知

る議員が中心になり、バス交通のあり方を検討していくべきではないか。

地域自治一括交付金事業

問 交付金の内訳は。

答 地域自治協議会モデル地区である比延地区には250万円、黒田庄地区には340万円を交付する。

問 他地区での実施予定は。

答 将来的には全地区で実施したい。

問 地区からのまちづくりと地域自治・自治会活動の違いとは何か。そして区長会との関係性はどうか。

答 地域自治は、まちづくり活動の中にも含まれ、公共的団体として民主的で透明性のある運営を行い地域の課題を解決するもので、一方、まちづくりは賑わいづくりや住民参加イベントも含め、もう少し幅広いものと捉えている。区長会は地域の課題解決のための意思決定機関で、まちづくりの活性化と住民自治の進展を図っていくものである。

選挙費

問 投票率のアップを期待して投票時間を2時間延長したが、投票率は下がり続けている。全国では投票日の投票時間を繰り上げて自治体が増加している。時間短縮によって生じた経費を使い、市役所以外に人が集まる「みらいえ」等へ期日前投票所を設置した方が効果があるのではないかと。

答 投票時間を2時間削減した場合、約90万円が軽減できるが、投票所の増設にはネットワークの構築等に約430万円が必要になる。合併後に大規模商業施設等での投票も検討したが、セキュリティの確保が困難なため断念した。

委員間討議

▼投票時間の繰り上げ(※3)は、投票機会を奪うことになりかねない。

▼当日18～20時までの2時間の投票機会の損失は、期間中も1か所まで20時まで期日前投票ができることによって吸収できるのではないかと。当日、投票時間の繰り上げをしても期日前投票所を増設すべき。

でない。期日前投票所増設(※4)には賛成。

▼期日前投票所増設の経費面が問題ならば、投票時間の繰り上げで経費面をカバーすべきである。

子ども関連重点予算編成

問 子ども関連予算に重点をおいている予算編成とのことだが、周辺市も同様の取組と聞く、比較するとどのようなポジションになるのか。

答 一般会計に占める子ども関連予算の比較対象を児童福祉費、教育総務費、小学校費、中学校費、幼稚園費の合計額とした場合、本市は16・9%、三木市は17・9%、小野市は17・0%、加西市は16・6%、また、今年度小中学校や認定こども園の施設整備を予定している加東市は22・8%、多可町は12・9%となる。

▼周辺市町のどこも力が入れられていることがよくわかる。このような中で、「子育てするなら西脇市」というイメージをどのように打ち出すのかを、こども福祉課だけでなく、地方創生の視点でも考える必要がある。

隣保館維持管理運営事業

問 公共施設適正化計画では、同一用途の施設は地区に1つを原則に見直しているが、津万地区の2つの隣保館とも耐震診断することとした理由は。

答 隣保館は、建築基準法改正前の建物のため耐震性を確認する必要があり、耐震診断と改修計画の業務委託経費を計上した。集会施設は1地区1施設を原則としているが、これまでの設置の経緯等を考慮し、地元と協議した上で今後の方向を決定していきたい。

ふるさと寄附金(※5)事業

問 事業指定のない寄附金の充當の決定方法を聞く。検討委員会等の設置はしているか。

答 3つの事業の中から決定しているが、かんきょうすくすく事業は、太陽光発電事業による環境基金があり、今後別の事業を検討する必要がある。現在は総合企画課と財政課が調整して決定している。今後は検討会議の設置も検討する。

福祉タクシー事業(※6)

9月決算審査時に文教民生常任委員会へ調査依頼した件であり、今回答申があったので、再度委員間討議を行いました。

委員間討議

▼1回に使える枚数を3枚にしてまだ日数も経っていない。統計データも5か月分しかなく、もう少し現行制度で様子を見るべきではないかと。

▼1回に使える枚数を増やすならば、総枚数も増やさないと高齢者や障害者の外出機会の創出という趣旨からは外れるのではないかと。

▼総枚数は現行のままでも、1回に使える枚数を5枚程度に増やすべきである。外出機会が減ることは他の交通機関を併用するなどして工夫すればいいのではないかと。

▼障害者の所得制限については撤廃すべきである。

▼現行の所得制限も642万円と比較的高額所得者に対してのみである。今のところ誰も困っていないのに、所得制限を撤廃する意味があるのだろうか。

みらいえ地域子育て事業

問 事業実績は高く評価するが、「みらいえ」へ平日に行ける子どもは限られる。地域間格差を埋める為にも、回数や人的面でも丁寧な対応はできないのか。夏休み事業(宿題をやっつけよう)も場所や回数等の充実を求める。

答 夏休みの事業は昨年同様1地区2か所で4回を基本としているが増やす努力はしたい。指導者や会場の確保の問題等があるため関係者と協議し検討する。

生活文化総合センター 実施設計事業

問 今後、どのような運営や利用を考えているのか。

答 旧図書館の改修に当たり、その利活用を市役所内で調整したほか、西脇区でアンケート調査やワークショップも行った。これらを踏まえ、市民サロン、市民ギャラリー、学習ルーム、ミニカフェ等を設置するほか、子育て学習センターあいあいランドの移転も検討する。市民交流・世代交流、生涯学習の拠点と位置づけ実施設計を行う。

特産農産物活用 地域活性化事業

問 高校生からの提案で始める事業だが、金ゴマ目標作付面積と障害者の担う農作業の内容はどうか。

答 面積は、ピークであった8ヘクタールを目標としている。有名洋菓子店からも高評価を得て、増産の要望もあるなど、需要は高く、全量買取可能な面積である。また障害者には通りの作業を経験してもらい、適正を検証した上でビジネスにつなげたい。

オリンピック・ パラリンピック ホストタウン事業

問 総事業費はいくらか。

答 使節団等との調整経費、国際基準による照明、壁面の改修等を行うが総額は算出できていない。ただし体育館の改修には国の補助金が充当される。

問 招致に当たって、卓球のレベルアップや障害者スポーツの充実など、全体を通してのフローや具体的構想が必要ではないか。

答 卓球だけではなく市全体が盛り上がるよう関係者等と調整しつつ。



時間外勤務手当

問 減少傾向だったが平成25年度から再上昇基調の理由は。

答 平成23年度末からの職員大量退職の補充が完全にできず、職員が不足していることや災害の頻発、市制施行10周年記念事業、マイナンバー制度や地方創生関連事業の実施も増加原因の一つ。

問 三木市では一人当たり月平均

残業時間20・3時間を3年かけて北播他市並みの12〜13時間に下げる目標設定をしている。また、全国的にワークライフバランスが注目される中、本市では北播2位の多さである平均18・5時間の時間外勤務の削減にどう取り組むのか。

答 基準の年360時間を超え、年500時間超の職員もいることから、これらの平準化を行い、平成25年以前の水準に戻したい。

委員問討議

▼時間外勤務削減を強く求めると、サービス残業を強制する結果になる心配をする。

▼職員を減らした弊害が出ているのではないか。

▼議会が時間外勤務削減を申し

入れることで意識付けが出来て、少しの頑張りで3%程度の削減は可能になると思う。

水道事業会計

問 春日浄水場の廃止予定とその後跡地利用をどうするのか。

答 平成30年3月に廃止し、取り壊しの後、更地にして売却したい。

西脇病院事業会計

問 県の研修費負担金とは。

答 県が医師を雇い、医師の少ない地域に配置するもので、配置された間の人件費相当分を負担するものである。

問 研修期間終了後、西脇病院に戻ってきたケースはあるのか。

答 医師の希望は聞いているが、県の人事により異動することになる。

問 高額機器や薬剤の購入に際して、コンサルタントを導入し、経費の軽減を図る予定と聞いていたが。

答 コンサルタントの導入を検討したが、成功報酬的な契約の締結が難しいため現状では導入できている。

市長への申入れ

数点の施策・事業について委員問討議しましたが、意見集約で一致したものは次の一点のみでした。

委員会最終日に市長に申入れるとともに、定例会最終日に委員長報告しました。

行政サービスの向上を基調に、職員の適正管理・適正配置に努め、時間外勤務の縮減に取り組むこと。

一般会計補正予算

問 マイナンバーカードの普及率が低い理由は何か。

答 神戸市のアンケートでは本人確認書類として使用するための申請が最も多い。神戸などの都市部では自動車運転免許証の多い方が多いためマイナンバーカードの申請が多い。地方では免許取得者が多いため申請率が低いと考える。

公営墓地特別会計 補正予算

問 墓地の返還が増えているが、返還ではなく親族などの間での名義変更ができないのか。

答 墓地に関しては、民法に規定する承継に当たり、お墓の守りや法事等を責任を持つてやってもらえる方であれば承継は可能である。

問 新区画においても希望するところから使用許可することはできないのか。

答 最近の使用許可の状況や景観上の考えから、従来のとおり順番制で許可する。

総務産業常任委員会

議案第4号

西脇市議会議員及び西脇市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例及び西脇市議会議員及び西脇市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について

当で、立候補しやすい環境を整える必要もあり賛成する。賛成多数で可決

請願審査

請願第1号

「治安維持法犠牲者国家賠償法（仮称）の制定を求める請願」

問 戦後72年が経過しこの法による犠牲者の特定が難しい中、どのようにしてもらいたいと考えているのか。

答 謝罪を第一に考えている。犠牲となられた方々は民主主義を守るため頑張ったと宣言することでも名譽が回復される。

委員問討議

▼欧米でも戦後謝罪や補償が行われており、日本でも対処が必要である。

▼罪を犯していないにも関わらず投獄され、裁判を起こすこともできなかった方々の名譽は回復すべき。

討論

・現状の上限額でも対応は可能であり反対する。
・上限額の引き上げは社会情勢を反映したものであり、基準は法律に則り定めることが妥



請願者趣旨説明

討論

・今となっては全ての方に公平な補償が出来ない。今請願を出されているのは、テロ等準備罪に対する牽制ともとれる。また、本市の公益に繋がらないことから反対する。

・人道に対する罪に時効はなく、過去に犠牲を払った方に謝罪や賠償は必要である。少なくとも犠牲者の名譽を回復すべきであり賛成する。

可否同数委員長決済により不採択

文教民生常任委員会

議案第3号

西脇市コミュニティ消防センター条例の制定

問 本施設は、防災関係団体以外での利用はできるのか。

答 地域コミュニティの形成や絆を深めるための活動など、幅広く活用してもらおう。

問 災害時の避難所として利用するの。

答 風水害時には消防団の活動拠点となるため、避難所としての利用は考えていない。



西脇コミュニティ消防センター

議案第39号

解決金の額の決定について

問 解決金の額の根拠は。

答 病院の減収や看護師の大量退職の恐れがあるなど、早期解決が重要であるとの観点から、当該医師の早期退職を前提に調整を重ね、合意した額である。

問 常勤医師の減少に伴う減収の見込みは。

答 医師が勤務していた年度との比較では、約1億6千万円の減収となる。

問 後任の医師は確保できるのか。

答 大学へ医師派遣を依頼する。派遣医師がいけない場合は独自で医師確保に力を注いでいく。

問 今回の解決方法が最善であったのか。

答 複数の弁護士とも協議した上での判断であり、西脇病院にとっては最善策であった。

施政方針に対する質疑

8名の議員が、市長の施政方針に対する質疑を行いました



ファッション都市構想と農業支援を問う

浅田 康子

問 重点プロジェクトのひとつである「西脇ファッション都市構想」の成果と、若手デザイナーの活躍の状況、また、平成29年度の取り組みは。

答 高校生から提案があった金ゴマの生産拡大に取り組む。作業工程の一部を障害者就労支援事業所が受託可能か検証し、農業と福祉を連携させ、農業の担い手確保と障害者の就労機会を創出する。

答 産地での最終製品の生産と若手デザイナーの誘致の仕組みを考え、11名の誘致に成功し、最終製品を生み出す環境を整えた。誘致した若者は受け入れ各社で活躍しており、今後は、これらの取り組みを定着・加速させ、特にコワーキングスペースでの自由な創作の保証や起業アドバイス等の支援を行う。

問 山田錦の生産者の栽培意欲の向上を図るため、市内でおよそ80年ぶりとなる「酒蔵の復活」の取り組みの進捗状況は。

答 市内で農業法人を設立し、自家栽培の山田錦で日本酒を製造する酒造会社が酒蔵建設の準備を進めている。酒蔵新設にはクリアすべき課題も多く、認可に時間を要するが、監督官庁、関係機関と連携・調整し、認可に向け積極的に取り組む。

問 農業支援で、山田錦、黒田庄和牛、イチゴ等の地域食材の中で金ゴマから発信される魅力とは。

答 産地での最終製品の生産と若手デザイナーの誘致の仕組みを考え、11名の誘致に成功し、最終製品を生み出す環境を整えた。誘致した若者は受け入れ各社で活躍しており、今後は、これらの取り組みを定着・加速させ、特にコワーキングスペースでの自由な創作の保証や起業アドバイス等の支援を行う。

地域医療について問う

村岡 栄紀

問 地域医療の圏域とどのエリアを指しているのか。

答 県保健医療計画で、神戸、阪神南、阪神北、東播磨、北播磨、中播磨、西播磨、但馬、丹波、淡路の10医療圏に分け、それぞれ地域の状況に応じた医療体制確保に努めている。本市は、北播磨5市1町の北播磨医療圏に属している。

問 この地域にふさわしい医療とはどのようなものなのか。

答 2025年問題を見過え、地域包括ケアシステムの構築が進められている。その中、西脇病院では一定の治療を終えた後、在宅復帰につなげる役割も担っており、圏域内の医療機関との連携を

進めるとともに、開業医との役割分担による病診連携を深め、市民の皆さんが安心して暮らせる地域医療をしっかりと守っていく。

問 地域包括ケア病棟の効果的な運用とは具体的にどのようなことなのか。

答 昨年11月に開設した地域包括ケア病棟では、リハビリを行いながら最長60日までの入院が認められるため、入院早々に転院先を考える必要性が少しでも解消でき、患者や家族の思いに添うことができる。一方、認定基準が厳格化され対応が難しくなる7対1看護体制維持に対し、診療報酬が保証され、病院経営上も安定した収益の確保が可能となる。

教育の復活を問う

岡崎 義樹

問 特別支援学級にタブレット型パソコンと液晶テレビを導入する経緯とその必要性を問う。

答 障害者権利条約の批准、改正障害者基本法の趣旨、平成28年4月からの障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の施行等を踏まえ、市と教育委員会が連携し、すべての子どもたちに適切な教育支援を推進する。支援として、「個に応じた教育的支援」を充実するため、ICTの整備は欠かせない条件であり、その活用を充実させていく必要があると考える。

問 インクルーシブ教育の推進に向けた、本市の重要な課題とは何か。

答 「子どもたち一人ひとりに対応した支援の充実」「教職員の専門性の向上」「相談・支援体制の充実」「教育的環境整備」が重要な課題と捉えている。

問 インクルーシブ教育システムの構築に向けて、必要な要件とはどのような事か。また、小中学校の特別支援学級ではどのような教え方をしているのか。

答 関係機関と連携し、就学前から中学校卒業にわたる切れ目のない支援体制を築くことと考える。教え方は、自立と社会参加に向け、小学校では主に基礎的学習の定着を行い、中学校では、一歩社会に近づく「自立する力」の取得をめざす。

施政方針をただす

林 晴信

問 子育てと教育に重点を置いた予算編成とのことだが、子ども関連予算が一般会計に占める割合の変遷を教えてください。

答 割合の変遷は、平成25年度14.7%、平成26年度14.5%、平成27年度18.9%、平成28年度19.1%、平成29年度17.9%となっている。

問 小中学校の英語教育に力を入れるとのことだが、教える英語教員への注力も大事なのは自明の理である。英語教員のスキルアップのためにも、教員のTOEIC受験の必要性を考えないか。京都府教委が昨年行った際は驚きの結果が新聞報道もされている。

答 県では平成27年度から英語教育推進

リーダーを育成し、英語教諭等に対し3年間かけて研修を進めている。TOEIC等は、教育委員会と現場教員の話し合いの中で検討される。

問 市計画の公募委員は、多くの自治体で実施されメリットも多いといわれている。無作為抽出制度を考えたか。またプラスして公募委員登録制度も導入すべきではないか。

答 無作為抽出制度は、市民の参画機会を増やし、市政への関心を高める観点から、選択肢の一つとして検討が必要と考えている。公募委員登録制度は、人材の偏りを防ぎつつ、より多くの市民参画を図るため、検討を進める必要があると考える。

次代に向けた重点的な取り組みを問う

東野 敏弘

問 市庁舎・市民交流施設の整備に当たって、時間的制約がある中で、市民や関係団体の具体的なニーズをどのように集約するのか。

答 基本設計を進める中で市民や交流施設使用関係団体等の意見を可能な限り伺い設計に反映する。またその過程で整備案を示す。子育てにかかる経済的負担を大きく軽減するとあるが、この施策は西脇市内に在住するすべての子育て世帯・すべての西脇市の子どもを対象としているのか。

問 軽減は、認可施設の利用者及び設置に当たり児童福祉法に基づき届出がなされ、その運営等に公的な機

関が関与することになる認可に準じた施設の利用者を対象とする。今年度設置される「子育て世代包括支援センター」の果たすべき役割は大変大きいと思われるが、庁舎内の連携をどのようにするのか。また、子育て学習センターに触れていないのは、なぜか。

答 健康課、こども福祉課、こどもプラザの担当が定期連絡会を持ち、情報共有し、必要に応じて、教育委員会等の関係部署、医療機関とも連携し支援を継続する。子育て学習センター職員は乳幼児健診等に参加しており、情報共有を図りながら事業を進める。

英検受験料、市外へ通う 中学生も対象なのか

坂部 武美

問 英語検定の受験料を負担するとのことだが、西脇の英語力は劣っているのか。

答 文部科学省では、中学校卒業段階で英検3級程度以上の力を身に付けてほしいとし、平成26年度でその達成目標を35%としているが、平成28年12月の県の調査では、本市の中学3年生で英検3級以上を取得している生徒は、14.7%で、平成27年度調査結果では、全国で18.9%、兵庫県15.5%となっている。

問 市外へ通う中学生は補助対象としないことが理解できない。今後、対象とすることを検討するの。

答 だが、附属、私学に通う中学生への対応は今後検討する。
問 民間の土地五千㎡以上で取得額が五千万円以上などの要件を満たす場合、15%以内で支給する西脇市産業立地促進措置条例の一部改正が提案されたが三千㎡約千坪ほどの面積でいいという企業が出てくれば、取得・面積要件の変更を検討する余地はあるのか。
答 取得・面積要件はある程度の投資規模を持つ企業に進出してほしいとの考えから、要件を定めた。ただし、この要件に該当しないため、優良企業が進出を断念されることのないよう、進出企業のニーズに柔軟に対応したい。

財政調整基金取り崩しの 考え方を聞く

村井 正信

問 財政調整基金を取り崩し、毎年の当初予算で歳入歳出の均衡を図っている。平成28年度分は、どのように見積もっているか。

答 現時点では市税や特別交付税が未確定で、歳出の予算執行率も不明であるため確実ではないが、平成27年度と同程度であれば、基金の取り崩しは生じないと考えている。

問 平成29年度当初予算では12億6千万円の取り崩しである。財政調整基金は、緊急の場合に取り崩して使うことになっている。平成29年度の取り崩し額は大きな金額となっているが、決算時に実際に取り崩さなければならぬ事態になれば、財政危機の始まりになるのではと危惧する。市長は取り崩しについてどのように考えているか。

答 平成28年6月策定の行政改革大綱に「財政健全化の推進」を掲げ、「財政基盤の強化に向けた取り組みを進め、収入を基本とした予算編成を可能とする財政健全化に取り組み」としているのとおり、基金を取り崩さずに予算編成を行うことが理想である。そのため「選択と集中」の徹底をはじめとする事務事業の見直しや、歳入確保の取り組みをさらに進める必要がある。一方、財政調整基金を取り崩してでも行わなければならない事業は、財政状況を勘案し予算編成を行う必要がある。

西脇が元気になってきた との手応えの理由は

寺北 建樹

問 新たな企業進出や人材の流入、西脇ローストビーフの誕生、市内統一学力調査の実施、認定こども園への移行、「みらいえ」の開館、太陽光発電所の整備などの取り組みにより、「西脇が元気になってきた」という手応えを感じている」と言われているが、多くの市民のみなさんの感覚は、「まだ手応えは感じられへん」という状況ではないか。「手応えを感じている」理由・根拠は何か。

答 農業分野では、日本酒ブームを背景とする山田錦の増産等による農業生産額の増や北はりま旬菜館の販売額等の増、ファッション都市構想による11名の若手デザイナーの流

問 新たな企業進出や人材の流入、西脇ローストビーフの誕生、市内統一学力調査の実施、認定こども園への移行、「みらいえ」の開館、太陽光発電所の整備などの取り組みにより、「西脇が元気になってきた」という手応えを感じている」と言われているが、多くの市民のみなさんの感覚は、「まだ手応えは感じられへん」という状況ではないか。「手応えを感じている」理由・根拠は何か。

答 「変わるリスク」とは、新しい場所に市庁舎等が移転する場合、人の流れや市民の利便性も変わる可能性があること、さらに新たな用地取得費等様々な「リスク」が発生するであろうということ。様々なリスクは想定されるが、この整備を起爆剤として市街地を中心にまちを再生したいと思っている。

市政を問う

12名の議員が市政に対する一般質問を行いました



新庁舎移転に合わせた 情報通信整備が効率的

高瀬 洋

問 基幹システムのクラウド化は、新庁舎に移転する平成32年度末のタイミングで実施するのが、最も効率が良いと考えるが、どのような計画になっているのか。

答 本市の基幹システムは、平成27年度に更新しており、サーバ機器の耐用年数である5年を経過する平成31年度末に更新を予定している。

問 新庁舎への移転に合わせ、電話交換機の更新や代表番号以外にダイヤルインの導入としてはどうか。

答 新する方向で考えているが、ダイヤルインの導入は、市民の利便性の向上やコスト等を十分に考慮し検討する。
問 情報通信が市民にとって身近に感じることのできる庁舎整備について、市長の考えはどうか。

答 更新は、新庁舎移転を見据え、段階的にクラウド化していくことが効率的と考える。ただ、単純に「クラウド化」「安い・安全」とは思っていないため、トラブル発生時

西脇市基幹システムのクラウド化



の対応など、クラウド化に伴う課題も調査・研究しながら検討を進める。新庁舎では、無料Wi-Fi環境の整備を行い、インターネット閲覧端末を設置するなど、市民の皆さんが情報化社会を身近に感じることのできる環境整備を検討したい。



西脇独自の 地域包括ケアシステムの推進を

村岡 栄紀

問 介護予防訪問介護と介護予防通所介護が、地域支援事業としての介護予防・日常生活支援総合事業に移行されるが、これにより、地域の実情に合ったサービスが提供されることを期待するのだが。

答 総合事業の開始により、従来の専門的なサービスに加え、多様なサービスの中から利用者の状況に見合うサービスの選択が可能となるため、選択の幅が広がり、支援の充実に繋がる。また、自立支援に向け、多様なサービスが有効に利用できるよう、市及び地

域包括支援センターが連携し、専門的な視点から支援していく。

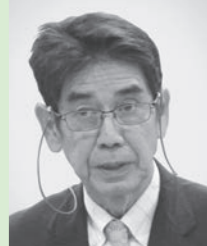
問 地域包括ケアシステムの成否は保険者である市町村にかかっており、地域住民自らの参画も含め、西脇の将来が地域包括ケアシステムの成否を通じて試されているといっても過言ではないと思うのだが。

答 高齢者の多様なニーズに応えられる地域包括ケアシステムの構築には、公助だけでなく自助・共助の取り組みを強化し、支え合う体制づくりが重要である。庁内関係部署の連携のもと、地域関

係機関や事業所等が連携し、市民の皆さんに自助・共助による取り組みへの啓発を行いながら、高齢者がいきいきと暮らせる市を目指し、地域包括ケアシステムの構築に取り組み



にしわき北・南地域包括支援センター



地域防災力の 充実・強化について

宮崎 春貴

問 東日本大震災等の大規模災害の際、地域で活動する消防団の安全確保、情報共有等が不十分であることが明らかになっている。団員の安全確保、情報共有は、本市の安全・安心につながるものと考えている。平成26年に消防団の装備の基準が総務省で定められたが、本市はこの新基準に適合しているか。充実に向けた対応は。

答 新基準では、団員の安全確保の装備、双方向の情報伝達が可能な装備、救助活動用機材の充実が定められており、団員が安全に活動しやすい環境整備

のため、新基準に適合しなければならぬと認識している。今後、装備の充実に向け、年次計画や装備の優先度を定め、新基準への対応に向けた検討を行う。

問 平成25年「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が制定され、将来にわたる消防団が地域防災力の中核として欠くことのできない存在であると定められた。西脇市消防団の充実強化に向けた考えを聞く。

答 消防団が地域防災力の中核



西脇市消防大会



入学準備金の 3月支給と増額を求める

村井 正信

問 就学援助には小学校新一年生、中学校新一年生を対象に入学準備金の制度がある。現行の支給額と支給月は。

答 小学校で2万4700円、中学校で2万3550円としており、1学期の学用品費等の支給月は8月としている。

問 入学準備金については、現在の8月支給ではなく、遅くとも入学前に支給するほうが有効に使える。3月までの支給に変更するよう求める。

答 県教育長会議で県教育委員会から援助を必要とする時期に

速やかに支給するよう依頼があったが、速やかに支給することができないとの意見があり、県教育委員会が対応を検討し回答することになった。審査等様々な課題があることから、近隣市町の状況を確認しながら、県からの回答を踏まえ検討する。



小学校・気持ちも晴ればな入学式

目安としている予算を組むべきではないか。

答 本市の就学援助費は、国の要保護児童生徒援助費補助金の単価を参考に決定しており、国の措置に合わせて引き上げることし、不足が生じた場合には補正で対応する。



小規模企業への 支援を充実せよ

坂部 武美

問 小規模企業ならではの重要性が見直され平成26年6月に小規模企業振興基本法が制定・施行された。他市と比較して支援策は多い方か。また、西脇市ならではの支援事業はあるのか。

答 小規模企業ならではの重要性が見直され平成26年6月に小規模企業振興基本法が制定・施行された。他市と比較して支援策は多い方か。また、西脇市ならではの支援事業はあるのか。

問 商工会議所等を通じての支援もあり、近隣市に劣っていない。独自支援では、県の創業関連貸付利用者への保証料補給や1円関連企業補助の上乗せ支援は本市のみであり、進出企業への賃料補助は本市と加西市が随伴

補助を行っている。条例制定は、今後の検討課題と認識している。

問 学童保育と放課後子ども教室を一体的に実施する「放課後子ども総合プラン」が平成26年に国で策定され、各自治体は行動計画を策定しなければならないがいつ頃に予定しているのか。

答 平成27年3月策定の西脇市子ども子育て支援事業計画に基づき実施しており、行動計画策定は予定していない。



西脇市で66%を占める小規模企業



道徳教育教科化の 課題と目指すもの

高橋 博久

問 平成30年から小学校、31年から中学校で教科となるが、専門教師はいない。普遍的な道徳教育を行っていく上での課題と目指すものは何か。

答 初めて教科書の使用や評価の実施、画一的な指導とならないかが課題と捉えている。また、児童生徒が自ら道徳性を養うことや自らを振り返り成長を実感することを目指している。

問 普遍的な道徳原理を、自ら考え判断する力を養って日々の生活の中で実践していく。その成果を実りあるものとするには保護

者や全ての大人たちが共に学び理解する必要があると思う、いかに保護者等に理解を得ていくのか。

答 学校からの便り等で、子どもたちの活動に常に関心を持ってもらい、学校と一緒に子どもたちの言い分を受け止め、しっかりと褒めて育ててもらおうよう支援・協力をお願いする。

問 議会では高校での議会報告会を開催



二宮尊徳像

する計画を立て取り組んでいる。若者がさらに幅広く育ち次代を担っていくために、市長も高校へアプローチしてみないか。

答 高校生には市の行事等を通じて、地域と関わることによって、地域への誇りや郷土愛がさらに高まっていくことを期待しており、その活動に対する支援を今後も行っていく。



庁舎移転に伴う 中心市街地の活性化について

浅田 康子

問 50年に一度といわれる庁舎が移転することで、西脇市、特に中心市街地にどのような変化が生まれ、また、賑わいの復活をどのように考えているのか。

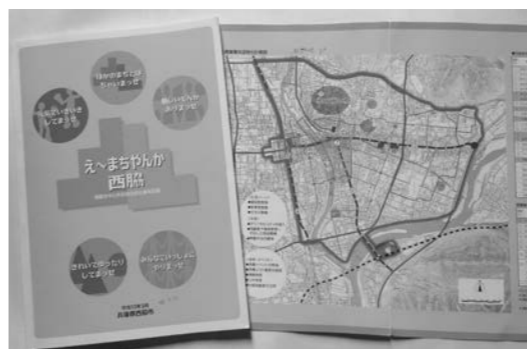
答 市庁舎等の移転により、都市機能を集積させ、移転をきっかけに新たな人の流れを生み出し、中心市街地に賑わいを取り戻せるよう取り組む。

問 「西脇市中心市街地活性化計画」は策定から15年が経過している。庁舎移転に伴い新たな中心市街地の計画を再編成する必要があるのではないか。

答 市庁舎移転を踏まえた新たな中心市街地の活性化に関する計画を策定し、まちなかにおける市民や事業者等、多様な主体との連携を図り、参画と協働の推進につなげる。

問 中心市街地に賑わいが戻ることが最終目標ではなく、西脇市全体に賑わいが広がる施策を問う。

答 中心市街地の都市機能は、そこで暮らす方だけでなく、中心市街地で提供する都市機能を利用する方にも大きく影響を及ぼす。将来的



西脇市中心市街地活性化基本計画

には、各地区の小さな拠点と都市機能が集積する中心市街地をコアエリア等で連結し、地域の活動や資源と中心市街地の都市機能をつなぐことにより、暮らしの安心や未来への希望を育んでいくことを目指して取り組んでいく。



防犯カメラの設置の 必要性を問う

岡崎 義樹

問 現在、双葉小学校と西脇南中学校に防犯カメラを設置している。学校内で事故等があったのか。その設置に至った経緯を聞く。

答 それぞれ校舎の建て替えに伴い設置したもので、事故等の発生により設置したのではない。

問 学校の管理・防犯体制が取りざたされているが、増設等の検討はなかったのか。

答 双葉小学校は、正門以外の出入口は必要時以外閉鎖しているため、また、西脇南中学校のその他の出入口は、フェンス等の整備が必要な箇所が残っ

ていることから設置していない。防犯カメラの設置により犯罪の抑止効果が期待できるものであるため、検討課題と考えている。

問 防犯カメラの設置は犯罪の抑止効果が期待できるが、近隣市町の学校の設置状況から増設をするべきではないか。

答 近隣市町でも防犯カメラが設置されている。本市の小中学校における防犯体制は、夜間・休日は全校で機械警備を実施し、警察への緊急通報装置も整備している。生徒児童



西脇南中学校

の在校中は、防犯マニュアル等に基づき、出入口の閉鎖などの対策を行い、定期的な訓練や研修を実施している。防犯カメラの犯罪抑止効果は期待できるため、調査・研究を行い、計画的に設置していきたいと考えている。

問 今、「立地適正化計画」を策定しているが、この計画は、人口が減少し、財政が乏しくなる中で、行政を効率よく進めていくために、市街地を縮小させ、施設の立地を中心部に誘導し、適切な人口密度や効率的な施設の配置を実現しようとするものである。理事者がコンサルに示した原案は、どのような内容か。

答 新庁舎等のカーナート跡地での整備決定を受け、都市機能誘導区域の中心拠点として位置付けるという基本的な条件を提示し作業を進めている。

問 中心市街地以外の区域はどうなるのか。

答 現在基礎調査結果をもとに都市が抱える課題を抽出し、検討しており、居住誘導区域の設定などは今後の検討課題である。

問 この政策を進めていけば、周辺部の過疎化は急速に進んでしまい、集落の維持は困難になつてしまふ。集落機能を維持していくための集落の課題と行政の課題は、

答 集落の課題は、小さな拠点の実現に向け、集落の皆さんのまちづくりに関する方向性の一致や集落の一体感の醸成が挙げられ、行政の課題は、人口減少社会において、地域が共同生活を維持し、住民自治を自立的に行うための新たな組織や仕組みを作り上げることが挙げられる。



中心市街地



形骸化した
総合計画からの脱却を

林 晴信

問 総合計画を果のあ
るものにし、地域
経営の柱とするため
も、現在の基本構想12
年、基本計画6年単位
のものを、市長の任期
に合わせた4年単位に
し、市長と市民との約
束である選挙公約等を
基本計画に反映させて
いくべきである。多く
の先進的な自治体では、
4年単位の基本計画に
変更し、基本計画の評
価と市長の評価をリン
クさせている。

を1つの区切りとする
最低5年は必要で、首
長任期と合わせていく
と6年が適当と考える。
また、市長公約等も基
本計画と方向性が異な
るものでなく、行動計
画で優先的に取り組む
事項として記述してお
り整合している。

問 事務事業評価
も西脇市では
僅か18事業しか行
われておらず低調。
行政評価、特に第
三者評価・外部評
価を行わなければ
ならない。自治基
本条例にも載って
いるが、いつどの
ような方法で行う
つもりなのか。

答 4年という期間は
合理性があると認
識しているが、十分な
策定期間や検証期間が
取れないことや行動計
画の期間にもある3年

答 先進自治体の事例
を研究していくが、
評価にはできるだけ多
くの市民に参加して欲
しいと考える。また、
コストや労力のかから
ない手法を検討し、新
総合計画開始の平成31
年度を目途に試行導入
したいと考える。

Point

結局、
基本計画を4年としているところは、
行政評価=市長の評価
としている。
行政の長としては当たり前の考え方と思う

一般質問資料

第56回3月定例会を終えて

議長 村井公平



第56回となる3月定例会を2月24
日から3月27日までの32日間開催し、
審査、審議を行いました。今期定例
会には、片山市長の任期最終年度と
なる施政方針と平成29年度各会計予
算をはじめとする40件の議案が提出
されました。

施政方針では8名の議員が質疑。
今回は、付託後の委員会審査や一般
質問に繋がる質疑が多く、1つのサ
イクルによる議論ができたと感じま
した。

予算審査では、従来の審査順序を
入れ替え、企業会計・特別会計・一
般会計の順に審査しました。また今
回、新規・拡充事業をまとめたカラ
ー刷りの「わかりやすい予算説明書
」が、全議員に配布されたことが好
影響を与え、今までにない踏み込ん
だ議論が交わされる場面が見られま
した。今後、各議員がこの説明書の
使い方を工夫し、事業の進捗や効果
等を確認するとともに、市民との情

報共有を図る材料として有効に活用
したいと思えます。
議案審査では様々な質疑や意見が
出されました。特に、新庁舎移転先
の建物解体費用の概算が庁舎移転議
案審査時点で示されていたにも関わ
らず、当初予算に計上されなかった
点について、委員から「イレギュラ
ーであることを十分認識してほしい
」との指摘がありました。その点
は私も同感でありました。
予算審査や決算認定時に行ってい
る「理事者への指摘事項」では、『行
政サービスの向上を基調に、職員の
適正管理・適正配置に努め、時間外
勤務の縮減に取り組むこと。』との
申し入れを行い、現状改善を強く要
望いたしました。
さて、5月8日から市内20か所の
自治会で議会報告会を開催いたしま
す。報告会への参加も含め、本年度
も西脇市議会に対する変わらぬご理
解とご協力をお願い申し上げます。

3月定例会 議案審議結果一覧表

◎全員一致で可決した議案

議案番号	議案内容 (議案の趣旨を分かりやすく説明したもので、正式な議案名ではありません)
議案第 1号	西脇小学校校舎基本計画検討委員会条例の廃止【計画・設計完了】
議案第 2号	工場立地法の規定による準則を定める条例の制定【緑地面積率等の緩和により、誘致促進】
議案第 3号	コミュニティ消防センター条例の制定【センターの利用等について】
議案第 5号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正【育児休暇の対象となる子の範囲見直し】
議案第 6号	手数料条例の一部改正【密着型サービス事業者指定申請等の手数料の新設】
議案第 7号	国保税条例の一部改正【減額対象となる所得基準の改正】
議案第 8号	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備運営に関する基準条例の一部改正【要介護1～5が対象】
議案第 9号	指定地域密着型介護予防サービスの事業等と効果的支援に関する基準条例の一部改正【要支援1・2が対象】
議案第 11号	産業立地促進措置条例の一部改正【企業誘致促進に土地取得奨励金の追加】
議案第 12号	中央駐車場条例の一部改正【中型車の料金の新設・開場時間を早める改正】
議案第 13号	心身障害児就学指導委員会条例の一部改正【就学指導委員会を教育支援委員会に改正】
議案第 14号	奨学金貸付条例の一部改正【高等・高等専門学校は廃止・専修(専門)学校を追加】
議案第 15号	緑風台古窯陶芸館条例の一部改正【休館日を週2日(火・水)に改正】
議案第 16号	消防団の設置に関する条例の一部改正【市外在住・市外勤務団員も可、任免に関する所要の改正】
議案第 17号	平成29年度一般会計予算
議案第 18号	平成29年度国民健康保険特別会計予算
議案第 19号	平成29年度学校給食センター特別会計予算
議案第 20号	平成29年度老人保健施設特別会計予算
議案第 21号	平成29年度公営墓地特別会計予算
議案第 22号	平成29年度介護保険特別会計予算
議案第 23号	平成29年度茜が丘宅地供給事業特別会計予算
議案第 24号	平成29年度後期高齢者医療特別会計予算
議案第 25号	平成29年度太陽光発電事業特別会計予算
議案第 26号	平成29年度水道事業会計予算
議案第 27号	平成29年度下水道事業会計予算
議案第 28号	平成29年度西脇病院事業会計予算
議案第 29号	平成28年度一般会計補正予算(第9号)
議案第 30号	平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
議案第 31号	平成28年度老人保健施設特別会計補正予算(第3号)
議案第 32号	平成28年度公営墓地特別会計補正予算(第2号)
議案第 33号	平成28年度介護保険特別会計補正予算(第4号)
議案第 34号	平成28年度太陽光発電事業特別会計補正予算(第2号)
議案第 35号	平成28年度水道事業会計補正予算(第2号)
議案第 36号	平成28年度下水道事業会計補正予算(第2号)
議案第 37号	平成28年度西脇病院事業会計補正予算(第2号)
議案第 38号	西脇市営土地改良事業(落方小山地区)計画概要の変更【計画・事業費・区域の変更】
議案第 39号	解決金の額の決定について

◎賛否の分かれた議案(○●賛成 ×●反対)

議案番号	議案内容(正式名ではありません)	古西祐子	村岡栄紀	高瀬洋	東野敏弘	坂部武美	浅田康子	岡崎義樹	松本和幸	宮崎春貴	村井正信	岩崎貞典	林晴信	中川正則	寺北建樹	高橋博久	村井公平
議案第4号	市議会議員・市長の選挙における選挙カー使用やポスター作成の公営に関する条例の一部改正【消費税改正分の引き上げ】	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議
議案第10号	福祉医療費助成条例の一部改正【老人医療費助成事業を廃止、高齢期移行助成事業を新設し高齢重度障害者医療助成事業実施規定を条例に追加】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	長
請願第1号	治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制定を求める請願【治安維持法による犠牲者への謝罪と賠償をする法律の制定を求める請願】	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	

賛否

討論

議案第4号

反対 寺北 建樹

過去の選挙において、限度額いっぱい使っている候補者はごく少数である。私の経験から言っても、現状の限度額で十分だと考える。無駄な公費の支出につながるので条例改正には反対する。

賛成 林 晴信

選挙公営の本旨は、貧富に関わらず被選挙権を行使できる権利確保、また候補者個人の財力によって選挙が不公平に行われないようにするためだ。一定の基準は必要で、あとは個人の判断である。

反対 古西 祐子

この議案は、消費税増税に対応するためだが、これに反対するということは、

実質費用を引き下げよと言ふ事と同等である。当市の財政の厳しさを考えた時、反対は当然であり、戒めとすべきである。

賛成 宮崎 春貴

限度額の引き上げは国の準則に合わせたもので、使い方は個人の責任の下に使用すれば良いのではないかと、また、立候補しやすい環境を整えることも大切なことであると考える賛成とする。

議案第10号

反対 寺北 建樹

年齢と所得の要件は、これまでと同じだが、身体的理由等により日常生活に支障がある特別な配慮が必要な方、と範囲を狭めている。安易に県に追従した条例改正には反対する。

賛成 中川 正則

県行財政構造改革により65歳から69歳までの老人医療助成事業が廃止される。経過措置として高齢移行

助成事業を創設し受給対象の方に現行と同様の助成を継続することから条例改正に賛成する。

請願第1号

反対 林 晴信

意見書提出は西脇市に対象者がいるかどうかが大きくな判断基準で、現在はいない。謝罪による名誉回復というが毀損されているとも考えにくい。ただ公務員による虐待行為は絶対に許してはならない。

賛成 寺北 建樹

戦前、友人との会話を協議・計画、研究会などを共謀の場としてねつ造・弾圧した警察の武器が治安維持法であり、すべて、戦争を遂行するための手段として活用された。謝罪と賠償を求める。

反対 岩崎 貞典

治安維持法は当時の政府

激論

が国を治める為という思いから作られたものであり賠償を行うとしても戦後72年を経過しようとしている中、既に亡くなった方が多数あり公平性の確保が難しい。

賛成 東野 敏弘

戦後まもなく名誉回復が図られるべきであった。国の名で始めた戦争による犠牲者の方々と同様、戦争遂行のために制定した法律で犠牲になられた方々の名誉を回復するのは、国の責務である。

反対 高瀬 洋

この請願が求めている「謝罪」というのが、どこまでの謝罪であるのかを国民が同じ認識で理解しづらい。従って、この法律ができた場合の影響が予測できない。よって採択に反対。

議案第17号

賛成 村井 正信

新庁舎周辺道路設計、市原羽安線工事費及びマイナ

議案第18号

賛成 東野 敏弘

無駄な歳出を見直し、保険税の据え置きを本年度も行う予算となっている。

議案第27号

賛成 東野 敏弘

下水道の維持管理費等の経常経費を計画的に抑えながら、台風による水害被害をたびたび受けた郷瀬町南部や黒田庄町福地地区の浸水対策事業にも計画的に取り組んでいる予算であり、評価できる。

文教民政常任委員会 活動報告

「現場の声を聞く」をモットーに、昨年9月から行ってきた調査の状況をお知らせします。

学校図書室のありかた

各委員が分担して市内の全小中学校を訪問し、それぞれの図書室の現状確認、図書担当の先生から利用状況や課題等を聴き取り、さらに、近隣の学校図書室の現状も調査しました。

これらの取組等を整理し、委員会として図書室へのバーコード導入やカーテンやイス・机等の充実、西脇小学校で実施されている保護者の協力による「ブックママ」の検討の3点を課題としてまとめました。

しかし、それぞれ解決すべき点があり、委員会としての結論は見出せず、今後は個々の議員において検討することとしました。



学校図書室

常任委員会からのお知らせ

総務産業常任委員会 活動報告

現在、総務産業常任委員会では、「バス交通事業について」をテーマに特定所管事務調査を行っています。

コミュニティバス調査

委員会でコミュニティバスに乗り調査。利用者の目的や行き先は、病院や買い物最も多く、その他として、「みらいえ」に本の返却に行かれる方や、喫茶店に行かれる方もありました。インタビューでは、「バスが生活の一部となっており、バスのない生活は考えられない」といったご意見もありました。ご協力をいただいた皆さん、ありがとうございました。

地域に飛び出して意見交換

芳田ふれあい館において、芳田地区の皆さんと意見交換会を開催しました。皆さんも、進行する高齢化や人口減少に対する危機感を持たれていきます。特に、市街地から離れた地区では、バス交通は必要不可欠だと感じられており、しっかりと環境整備をして欲しいという強い思いを聞かせていただきました。会議の中で出た意見は次のとおりです。



芳田地区の皆さんと意見交換会を開催

- ・バス交通の必要性について、まずは地区で共通認識をもつこと。
 - ・行政任せではなく、地区で頑張ろうという意識。
 - ・誰が主体となるのか。
 - ・ごといった順序で進めていくのか。
- 今回の意見を参考に、さらに話し合いを重ね、しっかりと調査を行っていきます。

特集・主権者教育

若者が拓く西脇の未来

「高校生版議会報告会」編



1. 全国的にどんな事例があるのかな?

例えば、大阪府議会では、出前講座として、パワーポイントやビデオを活用し、「道路整備」や「自転車条例」などを取り上げ、府民生活や府議会の関わりや本会議の流れを高校生に説明し、税金の使われ方の重要性について、〇×クイズを行っていました。八尾市議会では選挙公報を活用して、高校生・大学生から各議員に対し、議員活動などの質問を行っていました。多可町では、昨年の5月に政治に関心をもってもらうために、多可高生徒による模擬議会が開かれ、身近な問題点を質問し、町長や議員が答弁しました。参加した生徒たちからは、「政治の仕組みがわかった」などの感想が寄せられていました。

2. 岐阜県可児市では、なにをしているの?

先進的な取り組みをしている岐阜県可児市の「高校生議会」と愛知県新城市の「若者議会」を視察してきました。その中で可児市議会が取り組んでいる「地域課題解決キャリア教育」では、各種団体と高校生、そして議員が共に地域の活性化や課題について、意見交換を行った後、高校生から提案された意見書を本会議場で発表していました。さらに本格的な模擬投票や出前講座等も行っていました。

3. 高校生版「議会報告会」ってなに?

市内の三高校は、それぞれ特色のある学校です。現在、開催に向けて綿密に打ち合わせを進めています。高校生版「議会報告会」は、学生の意見が反映された事例や議会の仕組み等を報告し、学生の皆さんと一緒にワークショップを行い、若者の意見を政治に反映できればいいと考えています。また各学校での開催は、7月中旬の予定です。

西脇市議会では、特集・主権者教育「若者が拓く西脇の未来」の中で、主権者教育について取り組み状況をお知らせします。皆さんの貴重なご意見をおまちしております。

ようこそ西脇市議会へ

2月1日(水)
大分県日田市・議会運営委員会
委員8名・副議長・随員1名 合計10名
議会改革の取り組みについて。



3月30日(木)
埼玉県北本市・会派みらい
議員3名・議長 合計4名
観光誘客事業の取り組みについて。

第8回 議場を開放講演会開催

平成29年2月15日(水)
西脇市出身の噺家で4代目隅田川馬石師匠、を議場にお招きしました。第1部では、「落語の聴き方」について講演いただき、第2部では、日本の伝統文化である落語を一席披露していただきました。

ご両親や地元の友人をはじめ、多くの人で会場が埋めつくされました。



6月定例会予定

6月1日木曜日	午前9時30分から	議会運営委員会
6月8日木曜日	午前9時30分から	議員協議会
	午前10時00分から	本会議(第1日)
6月14日水曜日	午前10時00分から	本会議(第2日)
6月15日木曜日	午前9時30分から	文教民生常任委員会
6月16日金曜日	午前9時30分から	総務産業常任委員会
6月19日月曜日	午前9時30分から	予算決算常任委員会
6月20日火曜日		委員会予備日
6月27日火曜日	午前9時30分から	議員協議会
	午前10時00分から	本会議(第3日)
6月28日水曜日	午前10時00分から	本会議(第4日)
6月29日木曜日		予備日

※本会議、各委員会等は傍聴ができます。またインターネット中継(ライブ・録画)によりご覧いただくことができます。
※本会議の開催時間は審議の状況により変更することがあります。

西脇市議会 ネット中継 検索 **クリック!**



水尾町
小林 陽佳さん

買ったつもり貯金

私は一昨年、学校代表として子ども議会に参加させて頂きました。参加するまで市議会について何も知りませんでした。しかし、事前学習やリハーサルを通じて市議会のしくみや多くのことを学び、遠い存在だった「市議会」を少し身近に感じました。また、議員の方々には堅苦しく怖いイメージが私の中にはあったのですが、全くそんなことはなく、私たち一人一人の疑問や質問に対して親身になって答えてくださり、優しく気さくな人柄に驚かされました。市民に選ばれた責任を負って西脇市の問題を真剣に話し合う議員の方々はずいなど感じました。

私は一般質問で「みらいえ」の図書館で利用されている読書通帳の機能に、本物の通帳のように借りた本の合計金額が更新される「買ったつもり貯金」を追加することを提案しました。その提案に市長が「調整を行い、できる限り実現できる方向で検討する」と答弁してくださり、現在、実際に利用されています。自分が提案したことが多くの人に利用されていることに喜びを感じ、利用者が「買ったつもり貯金」をきっかけに本を読む楽しみを少しでも感じてもらっていたら嬉しかったです。

中学生のときに経験した子ども議会は、中学生が感じている様々な意見や考えを聞いたり、大勢の人の前で自分の意見を発表したり、普段の生活では経験することの出来ない貴重な機会でした。そんな貴重な経験をすることが出来て、私自身良い学びになったと思います。

高校生から見た議会

議会のこぼれ



合山町
見坂 若菜さん

私が求める理想の市議会

私が求める理想の市議会は、市民と共に創り上げるまちづくりを目指す場であることです。その理想を現実にするためには、自分の意志を議会の場で伝える「子ども議会」のような企画が必要だと私は考えます。

私が経験した子ども議会は、中学生が身近にある疑問や意見を提案し、反映させるという画期的なものでした。静寂の中、市長や議員の方々の前で発言した私たちは、とても中学生では味わえないほどの緊張と不安を経験しました。それでも自分の意志を最後まで伝えきり、無事に伝えられたのは、議員の方々のおかげです。慣れない環境に戸惑う私たちを温かく迎え入れ、文章の添削や発言の指導を積極的に行ってくださいました。優しく気さくに話しかけてくださるその姿に自然と笑顔になり、気づけば緊張と不安はなく、堂々と発言することができました。

私は、子ども議会がきっかけで変わりました。前に出て話すことが大好きになりました。それは、私の思いを真剣に聞いてくださる大人がいることを実感したからです。また、大人と対等の立場で一人の議員として扱われたことが、私にとって純粋につれしく思いました。

私が市議会に求めることは二つあります。一つ目は、「市民が議会に参加できる機会を設けること」。二つ目は、「子ども議会のような企画を続けること」です。市民も参加することで、より一体感が生まれ、大きな力となります。また、西脇市を担う子どもたちに、このような企画を通して議会を知ってもらうことが大切です。議会を経験し、興味を持つ子どもが増えれば、未来の西脇はさらに輝くまちになるのではないのでしょうか。

編集後記

今年度から市内の認定こども園は8園となり、幼稚園はしばざくら幼稚園が開園され、1園となりました。幼稚園における就学前教育も3年間となり、明日の西脇市を担う子どもの教育に力が注がれていきます。

議会広報広聴特別委員会では、議会だよりが、市民の皆様をはじめ、次代を担う若者にも興味深く関心を持ち、読んで頂けるよう、紙面づくりに工夫を重ねています。議会にも若者の新風が吹くことを期待しながら。

高橋

議会広報広聴特別委員会

委員長	岩崎貞典
副委員長	中川正則
広報担当	高橋博久
〃	林 晴信
〃	宮崎春貴
〃	寺北建樹
〃	浅田康子
〃	村岡栄紀
広報担当	

議会と語るう会

第14回議会報告会 日程表

日・曜日	町名	開始時間	開催場所	担当班
5月 8日 月曜日	八坂町	19:30~	八坂町公会堂	5班
5月 9日 火曜日	野中町	19:30~	野中町公民館	4班
5月10日 水曜日	高嶋町	19:30~	高嶋町公民館	3班
	黒田庄町前坂	19:30~	前坂集会所	1班
5月11日 木曜日	中本町	19:30~	中本町公民館	4班
	大木町	19:30~	大木町集落センター	2班
5月12日 金曜日	和田町	19:30~	和田町公民館	3班
5月13日 土曜日	坂本	19:30~	坂本公民館	3班
5月15日 月曜日	野村町7区	19:30~	茜が丘集会所	4班
5月16日 火曜日	高田井町	19:30~	高田井町健康福祉センター	5班
	出会町	19:30~	出会町集落センター	4班
5月17日 水曜日	黒田庄町黒田	19:30~	黒田公民館	5班
5月18日 木曜日	大野	19:30~	大野隣保館	5班
	堀町	19:30~	堀町公民館	2班
5月19日 金曜日	羽安町	19:30~	羽安町公会堂	1班
	黒田庄町船町	19:30~	船町公民館	3班
5月22日 月曜日	北本町	19:30~	北本町公民館	2班
	八日町	19:30~	八日・上丘公民館	1班
5月23日 火曜日	黒田庄町小苗	19:30~	小苗公民館	2班
5月25日 木曜日	南本町	19:30~	南本町公民館	1班

1班：寺北・松本・村岡 2班：高橋・坂部・古西 3班：林・村井正・宮崎
4班：中川・岡崎・高瀬 5班：岩崎・浅田・東野

今回の報告会は、12月及び3月定例会で審議した平成29年度予算・平成28年度補正予算・条例改正等について報告します。多数ご参加をお願いいたします。

お待ちしております!

主 催：西 脇 市 議 会

お問合せ：☎22-3111（議会事務局 内線304）

第14回 議会報告会

議会からのテーマ

高齢化時代に向けての バス交通のあり方

地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス交通の確保、将来の西脇市における公共交通のあり方を、市民の皆さまと共に考えたいと思います。

たくさんのご意見をお聞かせ下さい。

- ・ 地域におけるバス交通のあり方
- ・ 地域の実情に応じた適切な体制及び運賃体系
- ・ 庁舎移転に対応した利便性の高いバス交通ネットワーク



地区からのテーマ

各会場でテーマを設定し 意見交換